授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	1	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学Ⅰ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	総論①
	2	総論②
	3	エンジン本体①　概要
	4	エンジン本体②　シリンダヘッド
	5	エンジン本体③　シリンダ及びシリンダ・ブロック
	6	エンジン本体④　ピストン、ピストンピン
	0.5	前期中間試験
	7	エンジン本体⑤　クランクシャフト、フライホイール
	8	エンジン本体⑥　バルブ機構
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	2	
授業科目	ガソリン・エンジン構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	潤滑装置①、燃料及び潤滑剤
	2	潤滑装置②
	3	潤滑装置③
	4	冷却装置①
	5	冷却装置②
	0.5	後期中間試験
	6	燃料装置①、燃料及び潤滑剤
	7	燃料装置②
	8	燃料装置③
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	3
授業科目	ジーゼルエンジン構造学Ⅰ
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	16.2時間
授業コマ数	9コマ
授業概要	ジーゼルエンジンの構造を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	ジーゼルエンジンの構造、機能を理解する
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会
特記	
授業計画	1　エンジン総論①　内燃機関の概要 2　エンジン総論②　作動・燃焼方式 3　エンジン総論③　燃焼状態・圧力の変化 4　エンジン総論④　排出ガス対応策 5　エンジン総論⑤　排出ガス浄化装置 0.5　後期中間試験 6　エンジン本体①　構造・機能 7　エンジン本体②　潤滑装置 8　エンジン本体③　冷却装置 0.5　後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	4	
授業科目	シャシ構造学ＡⅠ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	動力伝達装置①　概要
	2	動力伝達装置②　クラッチ
	3	動力伝達装置③　マニュアルトランスミッション
	4	動力伝達装置④　オートマチックトランスミッション
	0.5	前期中間試験
	5	動力伝達装置⑤　プロペラシャフト
	6	動力伝達装置⑥　ディファレンシャル
	7	動力伝達装置⑦　ＬＳＤ
	8	動力伝達装置⑧　トランスアクスル・ドライブシャフト
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車シャシ	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	5	
授業科目	シャシ構造ＡⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	4輪駆動装置①　トランスファ
	2	4輪駆動装置②　パートタイム4WD・フルタイム4WD
	3	シャシスプリング①
	4	シャシスプリング②
	5	ショックアブソーバ・スタビライザ
	0.5	後期中間試験
	6	アクスル及びサスペンション①　概要
	7	アクスル及びサスペンション②　車軸懸架式
	8	アクスル及びサスペンション③　独立懸架式
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	6	
授業科目	シャシ構造学ＢⅠ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	油圧式ブレーキ装置①　概要
	2	油圧式ブレーキ装置②　性能・現象
	3	油圧式ブレーキ装置③　油圧式フートブレーキ
	4	油圧式ブレーキ装置④　制動倍力装置
	5	油圧式ブレーキ装置⑤　Ｐブレーキ・補助ブレーキ
	0.5	前期中間試験
	6	エア式ブレーキ装置①
	7	エア式ブレーキ装置②
	8	エア式ブレーキ装置③
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車シャシ	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	7	
授業科目	シャシ構造ＢⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	シャシの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ＡＢＳ装置①　概要・基本構成
	2	ＡＢＳ装置②　制御原理Ⅰ
	3	ＡＢＳ装置③　制御原理Ⅱ
	4	ＡＢＳ装置④　構成部品・作動
	5	ＡＢＳ装置⑤　作動
	0.5	後期中間試験
	6	スタビリティ・コントロール
	7	トラクション・コントロール
	8	予防安全装置　被害軽減ブレーキ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	8	
授業科目	自動車工学Ⅰ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	自動車に関する計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計算方法を理解し、計算結果が出せるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	自動車数学①　トルク
	2	自動車数学②　変速比
	3	自動車数学③　プーリ比
	4	自動車数学④　車速・駆動力
	0.5	後期中間試験
	5	自動車数学⑤　平均速度
	6	自動車数学⑥　燃費
	7	自動車数学⑦　バルブリフト
	8	自動車数学⑧　バルブタイミング
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	9	
授業科目	自動車工学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する工学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する工学を理解し、計算できるようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	基礎的な原理と法則①　オームの法則
	2	基礎的な原理と法則②　電力・磁力・電磁力
	3	自動車諸元①　寸法・排気量・圧縮比
	4	自動車諸元②　変速比・駆動力
	5	自動車諸元③　走行抵抗Ⅰ
	6	自動車諸元④　走行抵抗Ⅱ
	0.5	前期中間試験
	7	基礎工学①　重心Ⅰ
	8	基礎工学②　重心Ⅱ
	9	基礎工学③　軸重Ⅰ
	10	基礎工学④　軸重Ⅱ
	11	基礎工学⑤　軸重Ⅲ
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	10	
授業科目	電気・電子理論	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	電気・電子の理論を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電気・電子の理論を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電気と磁気①　電子、電流、電圧、電流の三作用
	2	電気と磁気②　電源と起電力、直流と交流、電気抵抗
	3	電気と磁気③　電気回路、電気図記号
	4	電気と磁気④　オームの法則①
	5	電気と磁気⑤　オームの法則②
	6	電気と磁気⑥　オームの法則③
	7	電気と磁気⑦　磁気、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度、電流による磁界
	8	電気と磁気⑧　コイル、電磁力、電磁誘導
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車工学	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	11	
授業科目	電装品構造学Ⅰ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	電装品の構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	電装品の構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	半導体①　概要、P型半導体及びN型半導体、ダイオード
	2	半導体②　ツェナダイオード、発光ダイオード、フォトダイオード
	3	半導体③　トランジスタ、フォトトランジスタ、サーミスタ、IC
	4	バッテリ①　概要、構造
	5	バッテリ②　極板及び極板群、電槽、ふた、電解液
	6	バッテリ③　機能　放電、充電、容量、自己放電
	7	バッテリ④　形式
	8	バッテリ⑤　整備
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	三級自動車ガソリン	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	12	
授業科目	電装品構造学Ⅱ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	16.2時間	
授業コマ数	9コマ	
授業概要	ガソリンエンジンの構造を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造、機能を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	始動装置①　概要・特性
	2	始動装置②　構造・作動
	3	点火装置①　概要・点火装置種類
	4	点火装置②　スパークプラグ・ハイテンションコード
	0.5	後期中間試験
	5	充電装置①　概要
	6	充電装置②　構造
	7	充電装置③　制御Ⅰ
	8	充電装置④　制御Ⅱ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	13	
授業科目	整備作業機器	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	整備作業機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	整備作業機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自動車の機械要素　ねじ
	2	基本作業①　スパナ、モンキレンチ、めがねレンチ、ソケットレンチ
	3	基本作業②　ヘキサゴンレンチ、パイプレンチ、トルクレンチ、ドライバ
	4	基本作業③　ハンマ、プライヤ、ギヤプーラ、ベアリングプーラ
	5	基本作業④　スライドハンマ、たがね、プレス、バイス
	6	基本作業⑤　やすり、弓のこ、リーマ、ベンチグラインダ
	7	基本作業⑥　ドリル、電動ドリル、卓上ボール盤
	8	基本作業⑦　タップ、ダイス
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車工学、基礎自動車整備作業	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	14	
授業科目	工業計測	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	計測機器の構造や取扱いを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	計測機器の構造、機能を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	測定作業①　スケール、ノギス
	2	測定作業②　マイクロメータ
	3	測定作業③　ダイヤルゲージ
	4	測定作業④　シリンダゲージ
	5	測定作業⑤　ダイヤルゲージ付きトースカン、シックネスゲージ
	6	測定作業⑥　スパークプラグギャップゲージ、プラスチゲージ
	7	測定作業⑦　定盤、Vブロック
	8	測定作業⑧　スコヤ、ストレートエッジ
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考	基礎自動車整備作業	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	15
授業科目	図面Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	講義
授業時間	16.2時間
授業コマ数	9コマ
授業概要	図面の読み方及び書き方・各記号や線の理解
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	図面の理解・製図の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　製図の基本①　概要・図形の投影方法 2　製図の基本②　線の種類と用途・図形の配置 3　製図の基本③　寸法記入・寸法補助記号 4　三角法での製図① 5　三角法での製図② 6　ねじの製図① 7　ねじの製図② 8　ねじの製図③ 9　ねじの製図④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	16	
授業科目	ガソリンエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	電子制御式燃料噴射装置①　概要
	2	電子制御式燃料噴射装置②　燃料系統
	3	電子制御式燃料噴射装置③　インジェクタ
	4	電子制御式燃料噴射装置④　吸気系統
	5	電子制御式燃料噴射装置⑤　スロットルボデー
	6	電子制御式燃料噴射装置⑥　ＩＳＣＶ
	7	電子制御式燃料噴射装置⑦　電子制御式スロットルボデー
	0.5	前期中間試験
	9	電子制御式燃料噴射装置⑧　制御系統　センサⅠ
	10	電子制御式燃料噴射装置⑨　制御系統　センサⅡ
	11	電子制御式燃料噴射装置⑩　制御系統　噴射制御Ⅰ
	12	電子制御式燃料噴射装置⑪　制御系統　噴射制御Ⅱ
	13	電子制御式燃料噴射装置⑫　制御系統　噴射制御Ⅲ
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	17	
授業科目	ジーゼルエンジン整備法	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンの構造と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	機械式燃料装置①　概要
	2	機械式燃料装置②　列型インジェクション・ポンプ
	3	機械式燃料装置③　分配型インジェクションポンプ
	4	機械式燃料装置④　プランジャ作動・制御
	5	機械式燃料装置⑤　タイマ・ガバナ・フィードポンプ
	6	機械式燃料装置⑥　スロットルノズル
	0.5	前期中間試験
	7	コモンレール式燃料噴射装置①　概要
	8	コモンレール式燃料噴射装置②　構造・機能
	9	コモンレール式燃料噴射装置③　サプライポンプの作動
	10	コモンレール式燃料噴射装置④　コモンレール
	11	コモンレール式燃料噴射装置⑤　インジェクタの作動
	12	コモンレール式燃料噴射装置⑥　センサⅠ
	13	コモンレール式燃料噴射装置⑦　センサⅡ
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	18	
授業科目	シャシ整備法Ａ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	アクティブ・コントロール・サスペンション　構造・機能
	2	エア・サスペンション①　概要
	3	エア・サスペンション②　構造
	4	エア・サスペンション③　機能
	5	エア・サスペンション④　作動
	6	サスペンションの性能①　振動・乗り心地
	7	サスペンションの性能②　ボデー振動
	0.5	前期中間試験
	8	ホイール・アライメント①　概要
	9	ホイール・アライメント②　キャンバ
	10	ホイール・アライメント③　キングピン傾斜角
	11	ホイール・アライメント④　キャスタ
	12	ホイール・アライメント⑤　トー・イン、ターニングラジアス
	13	ホイール・アライメント⑥　４輪アライメント
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	19	
授業科目	シャシ整備法Ｂ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	車体整備に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	車体の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ホイール①　概要・基本構造
	2	ホイール②　種類・規格・取り付け
	3	タイヤ①　基本構造・トレッドパターン
	4	タイヤ②　諸元・構造や用途によるタイヤの分類
	5	タイヤ③　諸特性　たわみ・緩衝作用・転がり抵抗・発熱
	6	タイヤ④　諸特性　振動・騒音・偏摩耗
	0.5	前期中間試験
	7	フレームとボデー①　概要
	8	フレームとボデー②　フレーム付きボデー
	9	フレームとボデー③　モノコック・ボデー
	10	フレームとボデー④　分野別問題
	11	ボデー外装①　フード・ドア
	12	ボデー外装②　ガラス・バンパー
	13	ボデー外装③　分野別問題
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	20	
授業科目	電装品整備法	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	25.2時間	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する知識を身に着ける	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置の構造理解と故障診断が出来るようになる	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	ボデー電装品①　ヘッドランプ
	2	ボデー電装品②　車幅灯・尾灯・番号灯・後退灯
	3	ボデー電装品③　ストップ・ランプ・方向指示器・ホーン
	4	ボデー電装品④　ワイパ・ウォッシャ
	5	ボデー電装品⑤　イモビライザ・キーレスシステム
	0.5	前期中間試験
	6	計器①　概要
	7	計器②　速度指示器・距離計
	8	計器③　各種ゲージ機構
	9	計器④　燃料計
	10	計器⑤　水温計
	11	計器⑥　油圧計
	12	計器⑦　エンジン回転計
	13	計器⑧　各種警報装置
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	21	
授業科目	故障診断学ガソリンエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ガソリンエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ガソリンエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	吸排気装置①　概要
	2	吸排気装置②　インレット・マニホールド、エキゾースト・マニホールド
	3	吸排気装置③　エキゾースト・パイプ及びマフラ
	4	吸排気装置④　触媒コンバータ
	5	吸排気装置⑤　2次空気導入装置、ＥＧＲ装置、ブローバイ・ガス還元装置
	6	吸排気装置⑥　過給機、インタ・クーラ
	7	吸排気装置⑦　可変吸気装置
	0.5	後期中間試験
	8	分野別問題集①　エンジン本体
	9	分野別問題集②　エンジン本体
	10	分野別問題集③　エンジン本体
	11	分野別問題集④　潤滑装置
	12	分野別問題集⑤　冷却装置
	13	分野別問題集⑥　燃料装置
	14	分野別問題集⑦　燃料装置
	15	分野別問題集⑧　燃料装置
	16	分野別問題集⑨　吸排気装置
	17	分野別問題集⑩　吸排気装置
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	22	
授業科目	故障診断学ジーゼルエンジン	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ジーゼルエンジンに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置①　概要
	2	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置②　特徴
	3	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置③　燃料システム
	4	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置④　作動Ⅰ
	5	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑤　作動Ⅱ
	6	ユニット・インジェクタ式高圧燃料噴射装置⑥　問題集
	0.5	後期中間試験
	7	吸排気装置①　過給機装置
	8	吸排気装置②　慣性吸気装置
	9	吸排気装置③　排気ガス後処理装置
	10	吸排気装置④　問題集
	11	予熱装置①　電熱式インテーク・エア・ヒータ
	12	予熱装置②　グロープラグ
	13	予熱装置③　問題集
	14	分野別問題集①
	15	分野別問題集②
	16	分野別問題集③
	17	分野別問題集④
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	23	
授業科目	故障診断学シャシA	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ステアリング装置①　概要
	2	ステアリング装置②　ステアリング操作機構
	3	ステアリング装置③　ボール・ナット型
	4	ステアリング装置④　ラック・ピニオン型
	5	ステアリング装置⑤　ステアリング・リンク機構Ⅰ
	6	ステアリング装置⑥　ステアリング・リンク機構Ⅱ
	0.5	後期中間試験
	7	パワー・ステアリング①　概要
	8	パワー・ステアリング②　種類
	9	パワー・ステアリング③　油圧式パワー・ステアリング
	10	パワー・ステアリング④　リンケージ・コンバインド型
	11	パワー・ステアリング⑤　インテグラル型
	12	パワー・ステアリング⑥　オイル・ポンプ及び配管
	13	パワー・ステアリング⑦　電動パワー・ステアリングⅠ
	14	パワー・ステアリング⑧　電動パワー・ステアリングⅡ
	15	分野別問題集①
	16	分野別問題集②
	17	分野別問題集③
	18	分野別問題集④
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	24	
授業科目	故障診断学シャシB	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	34.2時間	
授業コマ数	19コマ	
授業概要	シャシに関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	シャシに関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	ボデー内装①　シート、シートベルト
	2	ボデー内装②　エア・バッグ
	3	防錆・塗装①
	4	防錆・塗装②
	5	防振・防音・遮熱①
	6	防振・防音・遮熱②
	0.5	後期中間試験
	7	分野別問題集　ブレーキ装置
	8	分野別問題集　ブレーキ装置
	9	分野別問題集　ブレーキ装置
	10	分野別問題集　ＡＢＳ
	11	分野別問題集　ＡＢＳ
	12	分野別問題集　予防安全装置
	13	分野別問題集　ホイール及びタイヤ
	14	分野別問題集　ホイール及びタイヤ
	15	分野別問題集　ホイール及びタイヤ
	16	分野別問題集　フレームとボデー
	17	分野別問題集　フレームとボデー
	18	分野別問題集　フレームとボデー
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	25	
授業科目	故障診断学電装品	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	32.4時間	
授業コマ数	18コマ	
授業概要	自動車電気装置に関する整備士試験の演習問題を解く	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備士試験内容を理解する	
教科書	実践問題集	
特記		
授業計画	1	空気調和装置①　概要
	2	空気調和装置②　エアミックス方式、リヒート方式
	3	空気調和装置③　構造、コンプレッサ
	4	空気調和装置④　コンデンサ、レシーバ、エバポレータ
	5	空気調和装置⑤　オートＡ/Ｃ、マニュアルＡ/Ｃ
	6	空気調和装置⑥　制御
	0.5	後期中間試験
	7	電気装置の配線①　概要
	8	電気装置の配線②　構造機能　ＣＡＮ通信Ⅰ
	9	電気装置の配線③　構造機能　ＣＡＮ通信Ⅱ
	10	電気装置の配線④　構造機能　ＣＡＮ通信Ⅲ
	11	電気装置の配線⑤　問題集
	12	安全装置及び付属装置①　概要
	13	安全装置及び付属装置②　ＳＲＳエアバッグⅠ
	14	安全装置及び付属装置③　ＳＲＳエアバッグⅡ
	15	安全装置及び付属装置④　シートベルトⅠ
	16	安全装置及び付属装置⑤　シートベルトⅡ
	17	安全装置及び付属装置⑥　ナビゲーション
	18	安全装置及び付属装置⑦　ナビゲーション
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	26	
授業科目	特殊機構	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	自動車に用いられる特殊装置を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に用いられる特殊装置を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	過給装置
	2	可変吸気装置
	3	環境問題の現状と改善①
	4	環境問題の現状と改善②
	5	自動車の省エネ技術①
	6	自動車の省エネ技術②
	7	自動車の省エネ技術③
	8	自動車の省エネ技術④
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	27	
授業科目	材料・燃料・油脂	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車の材料と燃料、油脂に関する内容を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
授業計画	1	材料①
	2	材料②
	3	材料③
	4	材料④
	5	燃料・油脂①
	6	燃料・油脂②
	7	燃料・油脂③
	8	燃料・油脂④
	0.5	前期中間試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	28	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	自動車整備振興会・専門学校協会	
特記		
	1	概要　道路運送車両法の保安基準
	2	自動車の構造
	3	自動車の装置①　原動機
	4	自動車の装置②　車体関係
	5	自動車の装置②　車体関係
	0.5	前期中間試験
	6	自動車の装置③　公害防止装置
	7	自動車の装置③　公害防止装置
	8	自動車の装置④　灯火関係
	9	自動車の装置④　灯火関係
	10	自動車の装置⑤　運転装置
	11	自動車の装置⑤　運転装置
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	29	
授業科目	自動車関係法令	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	21.6時間	
授業コマ数	12コマ	
授業概要	自動車に関する法律を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	自動車に関する法律を理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
	1	概要　道路運送車両法
	2	自動車の種類
	3	登録制度①　自動車登録ファイル
	4	登録制度②　種類
	5	保安基準
	0.5	前期中間試験
	6	点検整備制度①　乗用車
	7	点検整備制度①　乗用車
	8	点検整備制度②　貨物車
	9	検査制度①
	10	検査制度②
	11	認証制度・指定制度
	0.5	前期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	30
授業科目	工作作業実習
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	34.2時間
授業コマ数	19コマ
授業概要	工作道具、工具を使用し金属加工を行う
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	安全作業を身に着け、工作道具、工具を使用できるようになる。
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 概要 2 ケガキ作業 3 やすり掛け作業 4 やすり掛け作業 5 やすり掛け作業 6 やすり掛け作業 7 やすり掛け作業 8 やすり掛け作業 9 仕上げ作業 10 穴あけ作業 11 ドリル歯研ぎ作業 12 スタッドボルト作成 13 タップ作業 14 締め付けトルクについて 15 ねじ折作業 16 逆タップについて 17 逆タップについて 18 折れたねじの取り外し 19 まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容
科目番号	31
授業科目	基本作業実習Ⅰ
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	32.4時間
授業コマ数	19コマ
授業概要	自動車の基本的な整備技術を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	自動車の基本的な整備技術を身に着ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 概要 2 車両名称 3 車両名称 4 車両取り扱いについて 5 リフト取り扱い・使用前点検 6 リフト取り扱い 7 リフト取り扱い 8 タイヤ取り外し 9 工具について 10 タイヤ取り外し 11 タイヤ取り外し 12 KYT講習 13 KYT講習 14 KYT講習 15 KYT講習 16 日常点検 17 日常点検 18 日常点検 19 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	32
授業科目	基本作業実習Ⅱ
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	34.2時間
授業コマ数	19コマ
授業概要	テスターの組み立てと電気の測定方法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	電気の測定が出来るようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　概要 2　アナログサーキットテスタ作成 3　アナログサーキットテスタ作成 4　アナログサーキットテスタ作成 5　電気の流れについて 6　回路構成部品について 7　回路の作成 8　回路の作成 9　電圧の計算・測定 10　電圧の計算・測定 11　電流の計算・測定 12　電流の計算・測定 13　抵抗の計算・測定 14　抵抗の計算・測定 15　測定復習 16　測定復習 17　配線の加工（ギボシの使い方） 18　カプラから配線の取り外し 19　まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容
科目番号	33
授業科目	基礎自動車整備実習ＡⅠ
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	86.4時間
授業コマ数	48コマ
授業概要	自動車のリフト作業とブレーキ関係を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	自動車のリフト作業が出来、ブレーキ関係の整備を理解する。
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 概要 2 リフト操作復習 3 エンジンオイル交換作業 4 ガレージジャッキについて・使用前点検 5～8 ジャッキアップ作業 9～10 タイヤローテーション・バランス取り 11～12 ジャッキアップ作業確認試験 13～18 マスタシリンダについて（学）・マスタシリンダ脱着・OH 19～26 ドラムブレーキについて（学）・ドラムブレーキ脱着・OH 27～32 ディスクブレーキについて（学）・ディスクブレーキ脱着・OH 33～34 ブレーキにエア抜き作業 35～36 ブレーキ装置関係点検要領 37～38 真空式制動倍力装置について（学） 39～40 パーキングブレーキについて・パーキングブレーキ調整 41～43 復習 44～48 ブレーキ分解作業確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　講義後のチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	34	
授業科目	基礎自動車整備実習AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備と測定を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの整備と測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	エンジン取り外し
	3～6	シリンダヘッドについて（学）・シリンダヘッド分解・燃焼室について（学）
	7～10	ノギスについて・マイクロメータについて・バルブステム測定
	11～12	シリンダヘッド構成部品について（学）・点検・清掃・組立
	13～20	エンジン本体分解・発電装置説明・変速機説明・ガスケット、オイルシール説明
	21～24	測定作業（キャリパゲージ含）・カムリフトについて・圧縮比、ピストンスピードについて（学）
	25～26	測定作業復習
	27～28	ノギス・マイクロメータ・キャリパゲージ確認試験
	29～32	エンジン組み立て・シックネスゲージについて・バルブクリアランス、バルブリフトについて・バルブクリアランス調整
	33～34	エンジン車両搭載・チェーン調整・ブレーキ調整
	35～38	キャブレータについて・キャブレータ清掃
	39～41	エンジン始動・エンジン回転測定・調整
	42	試運転
	43～47	復習
	48	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	35	
授業科目	基礎自動車整備実習AⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	自動車電気装置の整備について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車電気装置に関する整備が	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～10	バッテリーについて（学）（取り外し・充電・ブースターケーブル含）
	11～18	スタータについて（取り外し含）
	19	配線図について
	20～22	スタータ回路測定・スイッチ、リレーについて
	23～34	オルタネータについて（取り外し含）・オシロスコープについて（アナログ）・波形測定
	35～44	点火装置について
	45～48	オルタネータ波形測定、スタータ作動点検確認試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	36	
授業科目	基礎自動車整備実習ＢⅠ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	86.4時間	
授業コマ数	48コマ	
授業概要	エンジンの分解組み付けを行いエンジンに関する整備方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンに関する整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～5	エンジン作業台取り付け・バルブタイミングについて・シリンダヘッド分解
	6～7	バルブについて・バルブスプリングについて・ラッシュアジャスタについて
	8～10	ダイヤルゲージについて・カムシャフト、バルブ測定・カムリフト、バルブリフト復習
	11～12	バルブすり合わせ作業・シリンダヘッド組み付け
	13～18	エンジン本体分解
	19～20	潤滑装置について
	21～22	ピストン、ピストンリングについて・コンロッド、クランクシャフトについて
	23～26	シリンダゲージについて・シリンダ測定・圧縮比、ピストンスピード復習
	27～30	ピストン、クランクシャフト、コンロッド、オイルクリアランス測定・測定練習
	31～32	測定確認試験
	33～36	エンジン組み立て
	37～38	エンジン試運転
	39～43	タイミングベルト練習、測定練習
	44～47	タイミングベルト、測定確認試験
	48	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	37	
授業科目	基礎自動車整備実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	82.8時間	
授業コマ数	46コマ	
授業概要	自動車の法令点検について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	日常点検復習
	3～14	12ヶ月点検
	15～18	12ヶ月点検（ジャッキ）
	19～20	確認試験
	21～22	ステアリング、ステアリングギヤボックス取り外し
	23～24	ステアリングギヤボックスについて（学）
	25～26	ステアリングギヤボックス取り付け
	27～28	パワステオイルエア抜き作業・ハンドル調整・トー調整
	29～30	サスペンション取り外し、分解
	31～36	ショックアブソーバについて・アライメントについて
	37～38	タイヤについて・タイヤ交換作業
	39～40	アライメント作業確認試験
	41～46	12ヶ月点検復習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容
科目番号	38
授業科目	基礎自動車整備実習BⅢ
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。
学部・学科	二級自動車整備科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	82.8時間
授業コマ数	46コマ
授業概要	自動車のシャシ関係部品の分解、組付けを行う
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習
達成目標	シャシ関係の構造を理解し整備できるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 概要 2～4 トランスミッション取り外し 5～8 クラッチについて（学）・クラッチ取り付け（センター出し含） 9～12 トランスミッション取り付け 13～18 単体トランスミッション分解・シンクロナイザ機構について（学） 19～20 ギア比について・ギア比に関する計算 21～22 単体トランスミッション組み立て 23～24 ディファレンシャル取り外し 25～26 プロペラシャフトについて 27～28 ディファレンシャル組み付け 29～32 単体ディファレンシャル分解（歯当たり点検、バックラッシュ測定含） 33～36 単体ディファレンシャル組み立て（歯当たり、バックラッシュ、プレロード調整含） 37～38 ギア比について・ギア比に関する計算復習 39～40 ドライブシャフト取り外し、組み付け 41～43 ドライブシャフトについて、ブーツ交換作業 44～46 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	39	
授業科目	基礎自動車整備実習BIV	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車のエンジンに関する整備を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車のエンジンに関する整備を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～6	シリンダヘッド取り外し
	7～10	シリンダヘッドヘッドOH
	11～16	シリンダヘッド取り付け
	17～18	冷却水エア抜き作業
	19～22	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	40	
授業科目	基礎自動車整備実習BV	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	自動車の電気回路について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の電気回路を理解し測定が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	回路図見方復習（学）
	3	スイッチについて・リレーについて復習（学）
	4	ブレーキ回路について・測定（学）
	6～8	ヘッドライト回路について・測定（学）
	9～10	バックランプ回路について・測定（学）
	11～12	ブレーキ回路、ヘッドランプ回路、バックランプ回路故障診断（学）
	13	故障診断確認試験
	14～17	ハイブリッドについて
	18～22	低圧電気講習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	41	
授業科目	基礎自動車整備実習BVI	
実務家教員授業	授業担当者：藤永賢治　道上将和　大澤亮大　木村耕陽	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	39.6時間	
授業コマ数	22コマ	
授業概要	エンジンの制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンの制御を理解し、故障診断が出来るようになる。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～4	センサ・ECU・アクチュエータについて
	5～6	電子制御式燃料噴射装置について
	7～8	フューエルポンプについて
	9～11	サーキットオープニングリレーについて・プレッシャレギュレータについて
	12～14	インジェクタについて
	15～16	オシロスコープ復習（アナログ）
	17～18	噴射波形測定
	19～20	アナログオシロスコープ使用確認試験
	21～22	燃料系統回路測定・故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	42	
授業科目	応用自動車整備実習ＡＩ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	2輪整備とトランスミッションについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	2輪車とオートマチックトランスミッションについて構造を理解する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～10	2輪整備①車体
	11～20	2輪整備①エンジン
	21～27	オートマチックトランスミッション分解
	28～38	オートマチックトランスミッション　構造理解　組付け
	38～43	CVTについて
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	43	
授業科目	応用自動車整備実習AⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	77.4時間	
授業コマ数	43コマ	
授業概要	自動車の電気装置について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	デジタルテスタを使用して電気装置の測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～3	デジタルテスタ作成
	4～12	電子回路
	13	配線図見方復習
	14	電源回路
	15～16	ヘッドランプ回路
	17～18	ブレーキ・バックランプ回路
	19～20	パワーウィンドウ回路
	21～22	ワイパー回路
	23～43	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	44	
授業科目	応用自動車整備実習ＢⅠ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	68.4時間	
授業コマ数	38コマ	
授業概要	車体からエンジン、トランスミッション、ＡＣの脱着作業を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	エンジンやトランスミッションの取り外し方法を習得する。	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～9	エンジン・トランスミッション取り外し
	10～14	エンジン・トランスミッション構造確認
	14～24	エンジン・トランスミッション取り付け
	25～29	エアーコンデショナーの取り外し
	29～32	エアーコンデショナーの構造確認
	33～38	エアーコンデショナーの取り付け
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100％　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	45	
授業科目	応用自動車整備実習BⅡ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	自動車の電子制御を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	オシロスコープを用いた測定と故障診断が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2	電子制御式燃料噴射装置復習
	3～8	センサ・アクチュエータについて
	9	アナログオシロスコープ復習
	10	デジタルオシロスコープについて
	11～16	波形測定
	17	故障診断進め方
	18	外部診断機使い方
	19～39	故障診断
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	46	
授業科目	応用自動車整備実習BⅢ	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	70.2時間	
授業コマ数	39コマ	
授業概要	ジーゼルエンジンについて学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	ジーゼルエンジンの仕組みを理解し整備方法を身に着ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～13	ジーゼルエンジン分解
	14～15	ジーゼルエンジン構造
	11～16	ジーゼルエンジン組付け
	17～18	コモンレールについて
	19～20	余熱装置について
	21～26	噴射ポンプ分解
	27～28	噴射ポンプ構造
	29～39	噴射ポンプ組付け
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	47	
授業科目	自動車検査実習	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	75.6時間	
授業コマ数	42コマ	
授業概要	自動車の法令点検を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実習	
達成目標	自動車の法令点検整備と自動車検査が出来るようになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～8	12ヶ月定期点検復習
	9～20	24ヶ月定期点検（乗用）
	21～28	12ヶ月定期点検（貨物）
	29～32	エアブレーキ・補助ブレーキについて
	33～42	検査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	48	
授業科目	総合自動車整備実習	
実務家教員授業	授業担当者：亀谷宣文　宮木光司　道上将和	
	実務経験および授業との関連性：自動車整備士としての経験を活かし、自動車整備に必要な知識・技術を身につけるための指導を行う。	
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	43.2時間	
授業コマ数	24コマ	
授業概要	自動車整備士の総合的な技術を学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	新人の自動車整備士として働ける技術レベルになる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	概要
	2～4	測定技術　エンジン整備技術
	5～8	シャシ―整備技術
	9～12	故障診断技術①
	13～16	故障診断技術②
	17～20	法令点検技術①　エンジンルーム関係　接客応対
	21～24	法令点検技術②　シャシ関係
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	49	
授業科目	キャリアデザイン１	
実務家教員授業		
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	52.2時間	
授業コマ数	29コマ	
授業概要	就職に対する準備を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	就職希望企業選定、履歴書作成、面接対応力修得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	概要
	2	自己分析①
	3	自己分析②
	4	自己分析③
	5	学校長講話
	6	社会人基礎講座（企業連携）
	7	履歴書作成①
	8	履歴書作成②
	9	履歴書作成③
	10	面接指導①
	11	面接指導②
	12	面接指導③
	13～29	企業説明会
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	50	
授業科目	パソコン実習	
実務家教員授業		
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	表計算ソフトの使用方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	ＥＸＣＥＬを使用できるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシート、ブックの作成について
	2	セルのデータ管理について
	3	数式・関数について①
	4	数式・関数について②
	5	グラフの作成
	6	課題①
	7	課題②
	8	課題③
	0.5	試験
	0.5	後期期末試験
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内　容	
科目番号	51	
授業科目	消防法	
実務家教員授業		
学部・学科	二級自動車整備科	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15.3時間	
授業コマ数	8.5コマ	
授業概要	危険物取り扱いについて学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	危険物取扱者乙種第4類に合格する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	危険物の種類と性質
	2	基礎化学①
	3	基礎化学②
	4	火災予防と消化方法①
	5	火災予防と消化方法②
	6	危険物の法令①
	7	危険物の法令②
	8	危険物の法令③
	0.5	前期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		